

『遠野地区高校生企業見学会の開催』

令和4年12月7日と8日に、「遠野地区高校生企業見学会」が開催されました。

この見学会は、遠野市内の高校1年生が、遠野市内の企業や事業所を見学し理解を深めるとともに、働くことへの意識と職業観の醸成を図り、今後の進路選択の目安となるよう企画されたものです。

当支署には、岩手県立遠野緑峰高等学校と、岩手県立遠野高等学校から、計24名の生徒が訪れてくれました。



【職員が説明している状況：参加した生徒は、皆さん熱心に説明を聞いてくれました。】

見学会では、3名の職員がスライドで説明を行いました。

はじめに、わたくし佐野から、国家公務員のあらましや国有林野事業の紹介、日本の森林の現状や遠野支署の取組について紹介しました。

続いて、中村主事から、自らの職歴、業務の内容、林野庁に就職して感じていることや労働条件などを、自らの実体験をもとに紹介しました。

最後に、新井森林官から、国有林の最前線で行われている現場業務について、森林の調査、野生動物の状況把握、請負事業監督、地域貢献活動といった項目別に、写真を交えながら紹介しました。

質疑応答の時間では、高校生からは、「これまで経験した業務で大変だったことは何か」、「就職するのに必要な資格はあるか」、「林野庁に就職することとした志望動機はなにか」など、積極的に質問をいただきました。

3名の職員それぞれから、自らの経験を踏まえ回答したところ、高校生はメモを取りながら熱心に聞いてくれたように思います。

その後、森林・林業・木材産業関連の仕事に、遠野市出身者が一人でも多く就職してくれることを願いながら、次の見学会会場へ見送りました。

バスの中から、手を振ってくれた生徒がいたのが印象的でした。

林野庁や森林管理署の業務の紹介を通じて、私たちの業務の内容とその意義について、さらにはその楽しさについても理解を深めてもらうことができたと思います。

また、職員も自らの過去を振り返り、初心に戻り業務に邁進するきっかけにもなりました。

市町村へ出向していた当時を思い出し、今後も、地域の一員として、地域行事に参加しようという決意を新たにしました。